

熊野古道紀伊路第6弾（海南・藤白～宮原・山口王子）

山行日:2020年11月25日（水）

メンバー：do-yan（CL）、Sさん（ここゆめ班）

コース：JR 和歌山駅 6:21→6:36JR 海南駅→7:00 藤白神社（藤白王子）→7:40 藤白塔下王子
→8:11 橋本王子→8:23 所坂王子→8:40 一壺王子→9:39 蕪坂塔下王子→10:02 山口王子
→10:39JR 紀伊宮原駅 10:59→11:14JR 和歌山駅

今回の熊野古道紀伊路歩きは海南の藤白坂と拝ノ峠（蕪坂）の二つの急坂を越えて行くルートです、今回初めて、山の会のお供と一緒にです。



早朝の電車で海南駅に降り立ち、前回の終了地の祓戸王子から古道歩きの始まり。まずは、藤白王子この王子社はそのまま藤白神社として王子は残っています、前回熊野一鳥居跡で藤白神社に行ったときに確認しようと思っていた熊野一鳥居の碑を探すのを忘れてしまっていた。



藤白神社を過ぎれば第一の坂、藤白坂の始まり、民家の前の道を進んで行くと山道になり、まるで登山道です。



藤白坂には丁石地蔵という道中の安全を祈願する丁石が安置されています、これは藤白坂の距離を明確にするためにもありましたが、250年の間に埋もれてしまったり、谷に落ちたりで四体しか残っていなかったものを、十七体が復元され今は安置されています



藤白坂には「投げ松」、「筆捨松」の由来記がかかれた案内板と徳川頼信により造られた「硯石」が残されている



藤白坂頂上の藤白塔下王子に着く

近くには冷水浦、マリーナシティ、和歌浦、淡路島まで見渡せる展望の開けたところがあり、和歌山県朝日夕日百選に選ばれている



峠を越えて下って行くと橘本王子社跡があるが、もう少しで見落としそうになるが案内板に気づき少し戻り王子社跡を確認した



今は橘本王子社は塔下王子社と合祀され所坂王子となっています、神社合祀で廃絶していく王子社の中で神社となった一例がこの所坂王子です

ここから 15 分ほど市坪の集落を歩くと一壺王子に着く、秋の「泣き相撲」で知られる山路王子神社が一壺王子跡です

一壺王子は市坪（一坪）王子、山路王子あるいは沓掛王子とも呼ばれています、ここから急坂（蕪坂）が始まるのでそう呼ばれたとのこと



みかん畑の中を1時間近く蕪坂を登って行くと拝ノ峠に着く、少し下ったところに蕪坂塔下王子跡を見つける

みかん畑の蕪坂を下っていき宮原の街が見えてきてから 20 分で平地に出ると山口王子跡に到着した





山口王子社跡

ここから紀伊宮原の駅まで 30 分歩きます、



今回の古道歩きはここまでです、一緒に歩いてくださった S さんのおかげで道迷いもなく王子の見落としもなく感謝です、予定より 2 時間近くも早くゴールできました

次回はここから湯浅を抜け紀伊内原まで歩きたいですがこのコースは紀伊路の中でも難所といわれていますので、どうなることやら。